





1414  
A 321



國八州一警察設置ノ辨

既官費民費ヲ區別シ邑ノ警察ノ人民ニ委ス

レハ或ハ其帶官ヲ生スルノ恐レアリ然レモナ

レ各縣ニ設置スル警部以テ之ヲ監視シレモナ

レ務而已テ執行レ行政豫防ノ概ハ全ク名ノミニ

レテ殆シト其實ナキ如シ亦之ヲ改良セザルニ

カラカ

全國ニ備警兵ヲ設置スルハ今日ノ急務且最モ

願望スル所ナリト雖モ其設置ニ要スル所ノ資

力ナキレバ如何モ為スベキナシ又全國ノ警部

以テ查テ備警兵ト為シテ各縣令ニ或モ

テ與フルニ道ニ且モ

兵トシテ陸軍

大正十一年四月  
大隈侯爵邸



管轄ニ附スル高ハ縣ニハ次ヲ失レ亦之ヲ  
何モスベカラザレ  
故ニ今同ハ州ノ警部以查ヲ警視局ニ一統管轄  
スレ時ハ非常ニ當リ内務、陸軍兩卿ノ命ヲ奉シ  
直ニ銃器ヲ執ツテ事ニ臨ムノ旗アリ此ヲ先ヅ  
聞ハ州ニ用テ其効ヲ見漸次之ヲ全國ニ行ハシ  
テ  
郡、真ニ以查トナラント欲スルノ志操アル者ハ  
必スヤ東京ノ以查ヲ望ムベシ故ニ近縣ノ  
以查ハ東京ノ以查ノ選ニ當ラザル者ニ非ラザレ  
バ又宿總ノ兩條ヲ免カレザル者ニ限ルト云フ  
モ故テ証言ニ非ラザレバシ  
警視局ノ以查ハ總テ此一都府ノ下ニ以在シ朝

暮相會シ公則私則ヲ論シ署長アリ警部アリ  
宿長ニ以テ和督責レ又晝夜兩次本署ヨリ派  
出ノ以視アリテ其吏總ノ嚴ナル殆シ人ニ於  
セザル者ノ如クナルモ猶其品行方正ヲ信證レ  
難キ者アリ況ヤ各縣ノ以查ハ部内各所曠莫  
ノ地ニ散在派遣シ各獨立ノ事ヲ執ルヲ以テ互ニ  
講究スル者ナク又之ヲ監督スル者ナク只其意  
ニ任スル者ノ如シ其弊ノ至ラザレナキ亦知ル  
ベシ  
且夫レ東京ハ輦轂ノ下福鞍ノ地亦通逃ノ藪洲  
ナリ故ニ盜兇兇漢ハ夕ニ元ヲ東京ニ逞フシ朝  
ニ跡ヲ近縣ニ放ス而シテ之ヲ深復逮捕スルニ  
必需ナル品弱者ノ如ク  
及テ所懸ニ東京

警見



直轄のニ屬スルヲ以テ、且テアルニ當リ之ヲ  
地官廳ニ照會依頼シテモ、然レ如クナラズ時機  
ヲ失シ有スルハ、兎漢盗見ラシテ法網ニ漏レシ  
ハルコト以テ、理ヲ採ラズ世ノ公害ヲ除却スルヲ以  
テ任トスル保護官タル者、豈ニ痛嘆セザルヲ得  
シ  
日暮ノ時ニ所謂ノ岡引ナル者ノ弊ハ世人ノ能  
ク知ル所ニシテ、維新ノ今日ニ至リ人々皆ハ名  
ヲ改ハルモ其弊仍依然タリ故ニ品罰等ヲ近勇  
ニ回授スルモ、近縣ノ探察人モ亦是岡引重賈ニ  
シテ皆全穴ノ狐狸ナレバ到底是ノ一新スル能  
ハザルシ  
今若シ探偵逮捕等ノ事一警察ノ手ニ歸レシラ

岡引ニ網羅配置シ精良ナル以テ此等  
ノ勤務ニ取事セシメ、洗セテ邑警察ヲ設置シ且  
村民ニ什伍ヲ結ハシメ、以テ相矯正セシムル  
ハ今日猶往疇ニ異ナラザレ所ノ博徒ノ巢窟ヲ  
自然勦滅スベシ果シ然ラバ則テ東京府下ニ  
テ盗奪シタル贓品ヲ近縣ニ運出スルコト能ハズ  
又近縣ニ潛伏スル所ノ兎徒ハ、鞏下ニ其先  
ヲスルコト能ハザレバシ  
或ハ日前ニ保護ノ権ハ村落ニ委スベシト云ク、後  
ニハ近東各縣ノ警察ヲ一統スベシト論ズ、頗ル  
抵節スルニ似タリ如何  
曰村落ニ保護ノ権ヲ委スベシトハ、民費ヲ以テ  
設置スル邑警察也、岡引ニ屬スル一統スルトハ、官



費一畝ノ警察也其薄、頁、吳ナル所ヲ察ス  
レバ其相抵留セザルヲ知ルニシテ今之ヲ  
因東各縣ニ局ヲ設ル者ハ速ク歐洲ニ散セ近ク  
我々曰幕ノ時ニ設置シタル因ハ州廻リノ旧例  
ヲ見レバ其之レヲ茲ニ易スル所以モ亦知ルベ  
シ幕府治ノ間殆ント三百餘歳ノ星霜ヲ經過  
シ其政績ノ大ニ觀ルベキ昔今猶歴々數フ可シ  
況中因ハ州取締ノ如キ其府下ニ接近スルヲ  
テ元領藩地ノ別ナク殊ニ視察ヲ嚴ニシ一村落  
ニ至レ迄其法ヲ極メザル者ナシ而シテ世移リ  
星換レ人海流シニ及ヒ事ニ當ル者恭平ニ慣レ  
苟且ヲ事トシ復テ弊害ノ其間ニ穢生スルモ之

ヲ改正セズ故ニ今日ヨリ之ヲ回顧スレバ其弊  
大ニ取テシ、雖モ若シ其弊害ヲ除却シ其無  
冗ヲ刪復スレバ因東ノ警察ハ其曰ニ乃リ足レ  
者アラシ是因東各縣ヲ一統轄ノ警察ニ志ナシ  
ト欲スルノ蓋亦也其弊害ノ如キハ別ニ詳論セ  
ントス  
故ニ民費ヲ選シ警察ノ権ヲ村落ニ歸シ官費ノ設  
置ノ警部以查ハ邑警察ヲ教導獎勵シ凡俗ヲ心  
フシ忠孝仁義ニ趣カシムルノ指示ヲ為ナシノ  
儀セテ司法警察ニ因スル探偵逮捕ヲ管掌シ以  
テ百故ノ事情アリテ或ハ其獲テ忍ビザル等  
ノ姑息ニ縛ラレ月々下ス候ハガレ邑警人  
ヲ督責獎勵セト故、  
警察官置テ謀スル者ハ



石ニ鹽列スル所ニ依  
シラザルヲ領會スルニ足ラン  
此論ノ要旨ニ



